



2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月9日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス
コード番号 3733 URL <https://www.softs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宮崎 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 伊藤 純一郎

TEL 06-6350-7222

四半期報告書提出予定日 2023年6月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	16,765	26.9	3,568	29.8	3,586	29.9	2,475	30.0
2022年10月期第2四半期	13,216	6.6	2,749	28.5	2,761	28.3	1,903	28.7

(注)包括利益 2023年10月期第2四半期 2,476百万円 (29.7%) 2022年10月期第2四半期 1,910百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	473.37	—
2022年10月期第2四半期	350.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	36,370	29,238	80.4
2022年10月期	33,734	27,266	80.8

(参考)自己資本 2023年10月期第2四半期 29,238百万円 2022年10月期 27,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,436	10.4	5,439	12.1	5,508	12.2	3,816	12.3	705.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年10月期2Q	5,488,000 株	2022年10月期	5,488,000 株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年10月期2Q	258,840 株	2022年10月期	258,539 株
-------------	-----------	-----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年10月期2Q	5,229,364 株	2022年10月期2Q	5,431,838 株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) ハードウェア仕入実績	10
(2) 受注実績	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中で、感染法上の5類への移行が決定し、経済活動の正常化が一段と進むものと期待されます。一方で、世界的な金融不安や資源高、世界経済の減速がわが国においても景気下振れのリスクとなっており、依然として先行きは不透明となっております。

医療機関においては、長期的な新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で、医療機関の役割分担・連携体制の構築において課題が浮き彫りとなりました。そのような中、マイナ保険証・電子処方箋を始めとする「オンライン資格確認」の活用等、ICTの活用を通じた効率的・効果的な医療提供体制の構築が進められております。

さらに、行政が主導となって「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化」、「診療報酬改定DX」等の医療DXへの取り組みが進められており、その中核となる医療情報システムの重要度は増しており、普及拡大はますます進むものと考えられます。また、既に医療情報システムを導入している医療機関等でのリプレース市場も活発化してきており、引き続き医療情報システム市場における競争は激しさを増しております。

当社グループにおきましては、電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの開発・販売・導入・保守を中心に事業展開し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。前期に稼働した東京支社も加え、引き続き営業・保守体制の強化を図ってまいります。

この結果、売上高は16,765百万円(前年同期比26.9%増)、利益面におきましては営業利益3,568百万円(同29.8%増)、経常利益3,586百万円(同29.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,475百万円(同30.0%増)となりました。なお、セグメントの業績につきましては、当社グループは医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,635百万円増加し、36,370百万円となりました。主な要因は、現金及び預金3,637百万円の増加、受取手形及び売掛金2,182百万円の減少、有価証券900百万円の減少、棚卸資産2,594百万円の増加、流動資産「その他」に含まれる未収消費税等102百万円の減少及び有形固定資産272百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して664百万円増加し、7,132百万円となりました。主な要因は、買掛金57百万円の減少、短期借入金100百万円の減少、未払法人税等326百万円の増加、流動負債「その他」に含まれる未払金170百万円の減少、前受金332百万円の増加及び未払消費税等276百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較し1,971百万円増加し、29,238百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,475百万円、第54期利益剰余金の配当522百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,636百万円増加し、8,742百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,460百万円(前年同四半期は3,111百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,586百万円、減価償却費314百万円、売上債権減少額2,182百万円、棚卸資産増加額2,594百万円、仕入債務減少額57百万円、前受金増加額332百万円及び法人税等の支払額757百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、799百万円(前年同四半期は1,999百万円の支出)となりました。これは主に、有価証券の取得による支出1,600百万円、有価証券の償還による収入2,500百万円、有形固定資産の取得による支出86百万円、定期預金の預入による支出100百万円及び定期預金の払戻による収入100百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、623百万円(前年同四半期は517百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純減額100百万円及び配当金の支払額522百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2022年12月9日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,233,713	8,871,071
受取手形及び売掛金	5,442,456	3,259,927
有価証券	1,000,000	100,000
商品	858,137	3,345,932
仕掛品	324,971	432,071
その他	414,771	188,077
貸倒引当金	△5,417	△3,203
流動資産合計	13,268,633	16,193,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,603,414	7,354,738
機械及び装置(純額)	1,066	1,003
工具、器具及び備品(純額)	292,840	268,671
土地	11,616,786	11,616,786
有形固定資産合計	19,514,106	19,241,198
無形固定資産	22,452	18,594
投資その他の資産	929,634	917,003
固定資産合計	20,466,193	20,176,797
資産合計	33,734,826	36,370,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,350,129	4,292,497
短期借入金	100,000	-
未払法人税等	826,608	1,153,608
その他	1,119,436	1,615,702
流動負債合計	6,396,173	7,061,808
固定負債		
退職給付に係る負債	72,117	70,816
固定負債合計	72,117	70,816
負債合計	6,468,291	7,132,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,921,497	1,927,759
利益剰余金	25,908,669	27,861,163
自己株式	△1,525,947	△1,514,434
株主資本合計	27,151,619	29,121,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114,915	116,160
その他の包括利益累計額合計	114,915	116,160
純資産合計	27,266,535	29,238,049
負債純資産合計	33,734,826	36,370,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	13,216,253	16,765,087
売上原価	9,289,966	11,970,140
売上総利益	3,926,287	4,794,946
販売費及び一般管理費	1,176,984	1,225,971
営業利益	2,749,302	3,568,974
営業外収益		
受取利息	245	1,180
受取配当金	2,021	2,558
受取事務手数料	4,745	4,745
受取賃貸料	4,409	7,694
その他	6,519	2,552
営業外収益合計	17,941	18,731
営業外費用		
譲渡制限付株式関連費用	5,884	1,490
雑損失	1	54
営業外費用合計	5,885	1,545
経常利益	2,761,358	3,586,160
税金等調整前四半期純利益	2,761,358	3,586,160
法人税、住民税及び事業税	704,630	1,073,305
法人税等調整額	153,215	37,414
法人税等合計	857,846	1,110,720
四半期純利益	1,903,512	2,475,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,903,512	2,475,440

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	1,903,512	2,475,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,613	1,244
その他の包括利益合計	6,613	1,244
四半期包括利益	1,910,125	2,476,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,910,125	2,476,684
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,761,358	3,586,160
減価償却費	108,820	314,590
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,487	△2,213
受取利息及び受取配当金	△2,267	△3,739
売上債権の増減額(△は増加)	1,501,650	2,182,529
棚卸資産の増減額(△は増加)	313,356	△2,594,894
仕入債務の増減額(△は減少)	△173,024	△57,631
未払消費税等の増減額(△は減少)	△31,334	276,491
前受金の増減額(△は減少)	43,071	332,601
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△456,911	△58,212
その他	87,200	238,622
小計	4,150,432	4,214,302
利息及び配当金の受取額	2,164	3,696
法人税等の還付額	-	213
法人税等の支払額	△1,041,561	△757,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,111,036	3,460,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000,000	△1,600,000
有価証券の償還による収入	-	2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,013,881	△86,101
無形固定資産の取得による支出	-	△1,620
定期預金の預入による支出	△100,600	△100,600
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	△1,546	△1,958
短期貸付金の回収による収入	20,000	-
その他	△3,150	△10,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,999,178	799,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△100,000
自己株式の取得による支出	-	△224
配当金の支払額	△517,364	△522,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△517,364	△623,124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	594,493	3,636,758
現金及び現金同等物の期首残高	7,089,370	5,105,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,683,863	8,742,455

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) ハードウェア仕入実績

当第2四半期連結累計期間のハードウェアの仕入実績について、当社グループは単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ハードウェア	9,102,481	145.7
合計	9,102,481	145.7

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期増減率 (%)	受注残高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	5,811,436	43.1	4,519,067	55.7
ハードウェア	7,627,231	37.6	5,218,269	14.9
その他	732,567	△2.4	297,806	△28.7
合計	14,171,234	36.8	10,035,143	27.7

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績について、当社は単一セグメントとしているため、種類別に示すと、次のとおりであります。

種類	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	4,936,300	17.7
ハードウェア	7,296,664	49.6
保守サービス	3,903,875	10.1
その他	628,246	5.0
合計	16,765,087	26.9